

## プロジェクト名 「日本社会と教会」……地域に開かれた教会に向けて

リーダー 西岡義行（東京ミッション研究所、東京聖書学院、川越教会牧師）

メンバー 井上貴詞（東京基督教大学准教授、土浦恵み教会）

渡辺聡師（TBC 渋谷教会牧師、青山学院大学講師）

犬塚 契（日本バプテスト連盟ふじみキリスト教会牧師、シャローム子ども家、南カナンハウス責任者）

横山聖司（基督聖協団目黒教会牧師、高齢者向けカフェ「コーヒーなかま」主宰者）

### 1. 目的：

日本の教会（特に福音派）は、社会や地域から孤立していると指摘されているが、改善されない内的課題を抱えている。ところが、その課題と向き合い、地域に開かれた教会の取り組みは一部で実際に始まっており、その変革の波が広がっていくことを目的とする。

### 2. 目標：

日本の教会が地域社会から孤立しているという課題と向き合いつつ、地域に開かれた教会の実際的な取り組みから具体的に学び、宣教学的な考察・検証を踏まえて、そのあり方を「モデル」として、提示していきたい。

### 3. 方法／手段

教会の在り方についての新たな革袋に視点を広げられるよう、現在の教会の在り方の課題を明確化し、実際に地域に開かれた働きに取り組む教会に学ぶ。実際には、宣教学的な学び会、取り組んでいる教会への訪問、会合におけるディスカッションなどを重ねていく。

#### A. JCE 6 においてなされること

- 1) 教会が孤立化する課題を宣教学的に分析し、その理解を深めそこから脱却への思いを強める。
- 2) 具体的なケースを紹介し、いくつかのモデルを提供する。
- 3) テーブルディスカッションの時間を設けて、それぞれのテーブルの中でお互いが新しい革袋を模索する。

#### B. JCE 7 まで

具体的に取り組んでいる教会同士のネットワークを築いていき、可能であれば、それぞれ近い教会どうし、カフェ形式などを用いて、お互いから学び合う。

モデルを実践する教会からの発信を何らかの形で実施する（フォーラムの実施など）